

正会員 各位

(一社)全国ＬＰガス協会

ガス石油省エネ給湯機普及促進会議の設立について(お知らせ)
(通称：スマいる給湯プロジェクト)

この度、ガス石油省エネ給湯機の普及促進に向け、関係団体が横断的に連携する新たな会議体として、「ガス石油省エネ給湯機普及促進会議（通称：スマいる給湯プロジェクト）」を本年５月１９日に設立いたしましたので、お知らせいたします。

設置の背景として、政府は２０５０年カーボンニュートラルの実現に向け、２０３５年度６０％削減、２０４０年度７３％削減（いずれも２０１３年度比）という温室効果ガス削減目標を掲げております。家庭部門においては、給湯分野がエネルギー消費の約３割を占めており、同分野での排出削減にはガス石油省エネ給湯機の普及が不可欠です。

ガス石油省エネ給湯機は、従来機と比較して年間約１３％～５２％のＣＯ₂削減効果が期待される一方、

- ・ エネファーム、ハイブリッド給湯機、エコジョーズの機器名称や経済メリット・環境貢献に関する消費者認知の不足
- ・ ドレン水処理に関する自治体判断の差異、排水工事方法の周知不足
- ・ 賃貸住宅におけるオーナー・管理会社の導入動機の不足

など、普及を妨げる課題が存在しています。

さらに、資源エネルギー庁のトップランナー制度（２０２５年４月決定）では、２０２８年度までにエコジョーズ販売割合を４５％から６２％へ引き上げることが求められており、国の政策としても給湯機の省エネ化が強く推進される局面を迎えています。

こうした状況を踏まえ、関係団体が広く情報共有し、連携・協働して課題解決に取り組む場として、本会議体を設立したものです。

つきましては、全Ｌ協は運営管理団体として、本会議に参画し、ガス石油省エネ給湯機の普及促進に向け、エネファーム、ハイブリッド給湯機、エコジョーズの普及拡大の取り組みを一層強化してまいりますので、会員の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「ガス石油省エネ給湯機普及促進会議（通称：スマいる給湯プロジェクト）」

<https://www.jgka.or.jp/smile910project/index.html>

【参考：運営管理団体】

（一社）日本ガス石油機器工業会、（一社）日本ガス協会、
日本ＬＰガス団体協議会、（一社）全国ＬＰガス協会、
（一社）日本コミュニティーガス協会、燃料電池実用化推進協議会

以上

発信手段：Ｅメール

担当：保安・業務グループ：瀬谷、宍戸